

平成 21 年度 第 2 回 公民館運営審議会 会議要旨

日時	平成 22 年 2 月 18 日 (木) 15:00 ~ 16:30
場所	市民センター 217 室
出席者	委 員 長 河村 照子 委 員 笠原 清次 (欠席) ・ 小柴 明子 (欠席) ・ 西本 佳子 ・ 信岡 利英 ・ 藤田 まさ代 ・ 本玉 元 事 務 局 竹内公民館長 ・ 長岡館長補佐 ・ 中西主事 ・ 永吉指導主事
会議の公表	公開 非公開 部分公開 < 非公開 ・ 部分公開とした場合の理由 >
傍聴者数	0 人

1 会議次第

報告 (協議) 事項

- (1) 平成 21 年度公民館事業の実施結果について
- (2) 平成 22 年度公民館歳入・歳出予算の内示額について
- (3) 平成 22 年度公民館事業計画 (案) について
- (4) 平成 22 年度芦屋川カレッジ及びカレッジ大学院の実施について
- (5) 春の公民館講座等の実施について
- (6) その他

市民センター大規模改修工事について

次回の公民館運営審議会の開催予定

2 提出資料

資料 1 平成 21 年度 夏・秋・冬の公民館講座等の実施結果について

資料 2 平成 22 年度公民館歳入・歳出予算の内示額について

資料 3 平成 22 年度 公民館事業計画 (案) について

参考資料 公民館講座等の受講者数の推移

参考資料 公民館講座特集号 (案)

参考資料 平成 22 年度 芦屋川カレッジ入学案内 (案)

参考資料 芦屋川カレッジ聴講生入学案内 (案)

参考資料 平成 22 年度芦屋川カレッジ大学院 (第 3 期生) 入学案内

3 懇話内容

< 開会 >

竹内公民館長あいさつ

河村委員長あいさつ

事務局より配布資料の確認、説明

(竹内公民館長) それでは、これより先の議事進行は河村委員長にお願いしたいと思います。よろしくをお願いします。

(河村委員長) それでは、会議次第に従い、まず、協議(報告)事項の(1)について事務局より説明をお願いします。

<事務局より説明>

(本玉委員) 次々に事業を行って、受講者が集まっているのはすばらしい。今までの公民館の取り組みの成果が生きていると思われる。

(竹内公民館長) 市民の方の間に、公民館で実施するものなら安心という評価があるようです。

(西本委員) 中高齢者層に関しては、公民館に対して一定の利用実績があるようである。今後は若い世代をいかに呼び込むかが課題だと思われる。

(中西主事) もちろん公民館として今後も努力していくが、市の他の施設で実施している事業との兼ね合いもあり、どうしても中高年の方や、リピーターの方が多くなる傾向にある。

(信岡委員) 高齢者は生涯学習を通して生きがいを探している。個人的には新しい友人がなかなか作りにくい、芦屋川カレッジなどを通して新しい友人作りの場を得ているようだ。子育て支援については、子育てグループなども多くあるようだが、どうしても少人数のグループであるため、公民館でいっせいに何かをすることにはなじまないようである。また、自身の子どもが成長すると自然解散してしまうので、公民館での長期の活動にはなじまないのかも知れない。

(藤田委員) 芦屋川カレッジが長く続いているのは、カリキュラムの質の高さが要因と思われる。事実かなり評判になっている。子育て支援なども、現在PTAと共催で取り組みを進めているのは、相互のニーズを交換し合えていいと思われる。今後は若い人向けの事業をどうすれば盛り上げていけるかを検討する必要がある。例えば広報にもう少し細かな説明を載せてもらうとか、芦屋のケーブルテレビの番組を利用するなどして、今公民館をあまり利用されていない方にも公民館の取り組みの内容をよく知ってもらう方法を見当する必要があるだろう。

(信岡委員) 情報提供はとても大切である。高齢者からすると、パソコンやインターネットでの情報より、活字になっていて、家庭に掲示できるような媒体の方がありがたい。ただし、チラシを全戸配布するわけにもいかない、難しい部分もある。

(河村委員長) それでは、次に協議(報告)事項の(2)~(5)について、一括して事務局より説明をお願いします。

<事務局より説明>

(藤田委員) 講座のうちの特定の1回のみを聞きたいという要望があると聞いたのだがその対応はどうしているのか。特に子育て支援の講座にその要望が強いようである。

(中西主事) 現状は定員に余裕がある場合や、講座の内容、ねらいを考慮して一部認めている。複数回の講座として計画する意図もあるので、市民の方の声も聞きながら対応していきたい。

(信岡委員) ただし、全部の回に出席される方とのバランスを考えておく必要があると思われる

(藤田委員) カレッジ大学院は、カレッジ修了生のうち、比較的若い方には魅力的なようだが、高齢の方には、体力的な都合などで難しい部分もあるようである。今後もさまざまなプログラム

をご提供いただきたい。

(本玉委員) 芦屋川カレッジ大学院などの企画において、芦屋川カレッジ修了生の助言等を受ける方法も考えられるが、その点についてはどう考えているか。

(永吉指導主事) 今後の検討課題になると思われる。ちなみに今回の計画では、受講者により専門的な講義を受講していただく目的で、専門の研究者の監修を受けながらカリキュラムを作成した。

(河村委員長) それでは、協議(報告)事項の(6)の についてですが、事務局より説明をお願いします。

<事務局より説明>

(河村委員長) それでは、協議(報告)事項の(6)の についてですが、次回の会議予定について、事務局より案をご提示下さい。

(竹内公民館長) 例年に倣い、平成22年8月26日(木)の14時~ではいかがでしょうか。

<委員一同より、異議なしの声>

(竹内公民館長) ありがとうございます。それでは次回、平成22年度第1回公民館運営審議会は平成22年8月26日(木)の14時~開催します。会場等詳細については、後日郵送にてお知らせします。

(河村委員長) これで、予定されていた議題は全て終了しました。本日はどうもありがとうございました。